

平成28年度文部科学省「専修学校版デュアル教育推進事業
(医療事務における効果的な連携事業を行うためのガイドライン作成)」

第5回事業推進委員会議事録

1. 日時 平成29年2月22日(水) 13:30～15:30
2. 場所 クロスウェーブ幕張
3. 出席者 岡村 慎一 YIC ビジネスアート専門学校
清水 利朗 長野平青学園
増子 卓矢 郡山情報ビジネス公務員専門学校
岩田 和人 中央情報経理専門学校
高岡 信吾 専門学校岡山情報ビジネス学院
上野 慎輔 麻生医療福祉専門学校
森合 恵子 郡山情報ビジネス公務員専門学校
猪俣 昇 株式会社ウィネット
中西美和子 YIC キャリアデザイン専門学校
石田 哲也 富山情報ビジネス専門学校
佐藤 昭宏 ベネッセ教育総合研究所
飯塚 正成 有限会社ザ・ライスマウンド
4. 議 事
 - ①調査報告書作成について
 - ・調査では実習期間が夏と冬に集中している
 - ・1月、2月に実施し、来年度3月の報告は難しいのではないか
 - ・KBC(沖縄)視察の上、作成
 - ・KBCモデルはレアなケースではないか
 - ・実習期間が2年次の8月・9月であり、就職先を想定している
 - ・実習前に目標を設定し、発表会を行っている
 - ・地域性によって早期依頼の必要がある
 - ・簡易カリキュラムの提出は受け入れ側にとっても実習内容のイメージが付きやすい
 - ②次年度事業計画について
 - ・来年度9月頃までにガイドラインを作成
 - ・来年度2月～3月に体験型、補助型の実証講座実施予定
 - ・再来年度8月に参画型の実証講座実施予定
 - ・体験型⇒補助型⇒参画型の3回コースとして文科省に報告済み

- ・体験型と補助型をまとめて行うと良いのでは
- ・体験型か補助型のいずれかを必修科目にする
- ・参画型は選択にしてはどうか
- ・体験型、補助型、参画型と同じ実習先であるかどうかは学校次第
- ・来年度は役割分担を明確にし、各委員で業務を進める
- ・リスクヘッジについてガイドラインに入れる（文科省より）
- ・受け入れ側の病院へのメリットを明確にする
- ・24日までにホームページアップ

③今後の予定

- ・2017/2/24 病院調査分科会 14:00～16:00
- ・2017/3/2 第6回事業推進委員会 14:00～16:00